

令和3年度農作業事故ゼロ運動推進研修会Web開催要領

1 目的

北海道では、農業の規模拡大に伴いトラクタや作業機の大型化が積極的に推進されてきましたが、農業機械の大型化は、労働力の軽減と効率的な作業を実現している一方で、数多くの農作業中の負傷・死亡事故を発生させる要因にもなっています。

このような中、北海道における農作業中の負傷事故は年間 2,200 前後発生し、ほぼ横ばい状況で大きな変化はありませんでしたが、令和2年度は、前年を 181 件下回り減少傾向を示しています。

死亡事故は年間 20 件前後で推移しており、29 年以降の 3 年間は、いずれも前年を上回って増加傾向が続いていましたが、令和2年度は、前年を 3 件下回り減少傾向となりました。

死亡事故の被災者は、農業の担い手の高齢化が進行する中、60 歳以上の高齢者の事故がなかなか減少しない状況が続いており、機械の改良、作業方法の見直しや作業環境の改善など、高齢者の事故低減に向けた取り組みが急がれます。

当本部では、このような状況を踏まえ、農作業事故や交通事故を未然に防止するとの観点から、農業者、JA、市町村、普及センター及び試験場等の職員の農作業安全に対する意識の向上や、地域における安全運動の推進を図ることを目的として、「令和3年度農作業事故ゼロ運動推進研修会」を開催します。

2 主催 北海道農作業安全運動推進本部、北海道

3 日時 令和4年2月25日（金）午後1時30分【受付開始12:30】

4 場所 北海道農業公社5階会議室
札幌市中央区北5条西6丁目1-23（TEL：011-232-8407）

5 開催方式 Web方式による開催
サービスアプリ：CISCO Webex Meeting
※今回の研修会は、Web方式（参加者ご自身のPCを用いた視聴等）による方法での実施となりますので、参加申込者には、後日、主催者より招待メールを送付します。

6 対象者

農業者、JA、市町村、普及センター、試験場、各地区推進本部（（総合）振興局・各連合会・農業公社・生産連等）、北海道農作業安全運動推進本部構成会員等

7 資料

(1) 令和4年1月24日までの参加申込者
研修会資料を送付します

(2) 令和4年1月25日以降の参加申込者
北海道農作業安全運動推進本部のホームページよりダウンロードをお願いします

8 講演

時間	内容
12 : 30 ~ 13 : 30	受付
13 : 30 ~ 13 : 35 5分	開会あいさつ
13 : 35 ~ 13 : 45 10分	<事務局報告:北海道における農作業事故の発生状況について>
13 : 45 ~ 14 : 15 30分	講演 (1) 2022年春の農作業安全確認運動について(情報提供) 農作業安全検討会における検討状況について(情報提供) 農林水産省 農産局 農産政策部 技術普及課 生産資材対策室 課長補佐(安全指導班) 田中康嗣氏
14 : 15 ~ 14 : 45 30分	(2) 荷役・運搬・高所作業にかかる農作業事故事例と安全確保への取組 (国研)農研機構 農業機械研究部門 システム安全工学研究領域 予防安全システムグループ長補佐 積 栄氏
14 : 45 ~ 15 : 15 30分	(3) 農業における労働災害の防止対策等について 厚生労働省 北海道労働局 労働基準部安全課 安全専門官 細川哲義氏
15 : 15 ~ 15 : 25 10分	質疑
15 : 25 ~ 15 : 30 5分	閉会あいさつ

9 質疑

当日は、システムの都合上、質疑応答は行いませんので、ご質問等については事務局にお問い合わせください。

10 参加申込

- (1) 受付期日
令和4年1月上旬から令和4年2月10日まで
- (2) 申込書
別紙1のとおり(必要事項を記入してメール又はFAXで提出)
- (3) 提出先
北海道農作業安全運動推進本部
〒060-0005
札幌市中央区北5条西6丁目1-23
公益財団法人北海道農業公社内
TEL/FAX 011-232-8407
E-mail: agr-anzen@vega.ocn.ne.jp

11 新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルス感染予防対策のため、「新北海道スタイル」に沿って開催します。

- 当日に体調のすぐれない方は、参加を見合わせてください。
- 会場入口で消毒液による手指消毒と検温を実施しますので、ご協力をお願いします。
なお発熱が確認された時には、出席をご遠慮いただく場合があります。
- 研修会開催中は、必ずマスクの着用等を含むエチケットの徹底をお願いします。